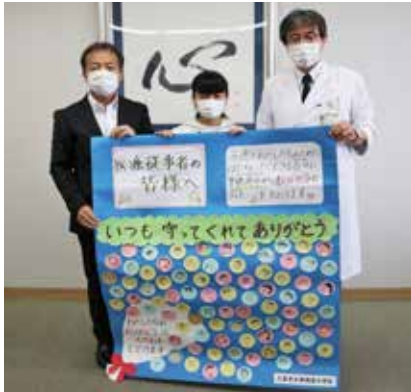




## 済生会栗橋病院の医療従事者の皆さんへメッセージの贈呈



6月4日(木)、栗橋西中学校の高橋校長と生徒会長の高橋葵さんが、済生会栗橋病院を訪問し、栗橋地区の小・中学校5校の児童生徒が作成した医療従事者への激励メッセージを贈呈しました。

高橋さんは、日ごろの医療従事者の激務に感謝を述べるとともに、「自らも手洗い・うがい・マスク着用などを徹底し、感染予防に努めます。」と伝えました。

済生会栗橋病院長の長原光さんは、「院内に飾って職員や来院者に見てもらいます。今までの苦勞が報われた思いです。ありがとうございます。」と感謝の気持ちを述べられていました。

## 寄付に対する表彰状の贈呈



7月3日(金)、市内に本社を置く株式会社エフテックから、新型コロナウイルス感染症対策として、ポリウレタン製マスク1万枚が寄付されたことを受け、感染症対策の推進に深い理解を示されました同社に対して、表彰状を贈呈しました。

寄付いただきましたマスクについては、新型コロナウイルス感染症対策として、福祉、教育分野などで活用させていただきます。

## 久喜市中学生サミット (連載第4回)

### 第5回「久喜市中学生サミット」を開催しました

久喜市内の中学校代表生徒が一堂に会し、「なくそう・ふせごうSNSトラブル!」をテーマに、みんなで守れるSNSトラブル防止に向けたルール作りに向け、熱心に話し合い、共同宣言を発表しました。それを受けて各学校が取り組んだ内容を紹介します。今回は、菖蒲南中学校と栗橋東中学校の取り組みです。 [問](#) 指導課指導係 [教](#) 内線348)

#### 菖蒲南中学校



菖蒲南中学校では、今回の中学生サミットについて、10月の生徒会朝礼で報告しました。その際に、本校が当日発表したものを全校生徒にも見てもらい、SNSについて考えてもらう機会としました。

また、LINEから講師の先生を招き、SNSの使い方についてのお話も聞きました。

サミットに参加できた私自身も、SNSの使い方について深く考える機会となりました。



#### 栗橋東中学校

第5回中学生サミットでは、違う学校の中学生と話し合う経験がとても新鮮に感じました。また、課題について話し合っていく過程で、自分とスマホの課題との関わりを身近に考えることができました。

今回の中学生サミットの内容を生徒会通信で全校に知らせました。さらに、共同宣言を掲示したり、「ありがとうの木」を作成し、掲示したりしました。

本校では言葉を大切にし、感謝の気持ちをメッセージカードに書いて伝えるという活動を行事後や学期末に行っています。SNSは非常に便利ですが、捉え方は人それぞれです。日頃から言葉を大切にし、適切な判断ができれば、ルールを守りSNSと上手に関わることができると思います。

